

宮崎県立図書館ビジョン (一部改定版) 第4期 アクションプラン併記



令和5年2月策定
※アクションプランは令和8年3月策定
宮崎県立図書館

I ビジョン一部改定の目的

県立図書館では県内外の有識者からなる「宮崎県立図書館ビジョン懇談会」の提言(平成28年11月)を踏まえ、長期的な視点で県立図書館の今後目指すべき姿や果たすべき役割、今後の施策の展開の方向性を明確にするため、平成29年12月「宮崎県立図書館ビジョン」(以降「ビジョン」)を策定し、その期間を10年間(平成30年度～令和9年度)と定め、必要に応じ見直すこととしました。

策定から5年を経過した現在、感染症の世界的流行やDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進など社会情勢が大きく変化しそのスピードも増す中、具体的事項を含む現ビジョンの内容は現状に合わなくなっている部分も出てきました。

そこで現ビジョンの大きな方向性は変えず、具体的事項は時代の変化に対応可能な表現にするとともに、内容をよりシンプルにすることで、県民の皆様と県立図書館のあり方や方向性について共有しやすくするよう改めました。

※デジタルトランスフォーメーション…将来の成長、競争力強化のために、新たなデジタル技術を活用して新たなビジネスモデルを創出・柔軟に改変すること。

II ビジョンの期間

本計画は、平成30年度から令和9年度までの10年間(一部改定後の適用期間は、令和5年度から令和9年度の5年間)の計画とします。

なお、必要に応じて見直しを行います。

Ⅲ 基本目標

これまで、『「知の共有・創造」を支える図書館ネットワーク』を基本目標として定めていましたが、県民の一生の学びを支え、宮崎の歴史・文化を伝える県立図書館として、新たにより分かりやすい目標を定め県民と共有します。

「人の暮らしを豊かにし、地域の課題解決に役立つ図書館」

Ⅳ 行動指針

これまで基本目標の下にあった「基本的役割」を、基本目標を達成するための「行動指針」に置き換えました。

- 1 図書館の図書館(全県ネットワーク)
- 2 みやざきの資料(地域資料)の拠点
- 3 調べたい、学びたいに資料・情報・知識で応える

※資料…図書館が所蔵する図書、新聞、雑誌、パンフレット等の紙資料

※情報…図書館が所蔵しないWeb上の統計や記事、データベースの情報

※知識…どのような資料や情報、専門機関がどこにあるか等を把握している図書館職員の専門知識

V 今後の施策展開の方向性

IVの行動指針を踏まえて、今後の施策展開の方向性を次のとおりとしました。

また、ビジョンの改定とともに策定していたアクションプランを取組の実績等に応じて見直し、新たなアクションプラン（期間は、ビジョンの終期となる令和8年度～令和9年度の2年間）を策定しました。

以下、口囲みの取組が新たなアクションプランとして策定した内容です。

1 図書館の図書館（全県ネットワーク）

県内公共図書館等とのネットワーク(図書館員・情報システム・物流)の核として全県的に図書館サービスの充実を図り、県民が生涯にわたり読書に親しみ、自主的に学び続けることを支援していきます。

知のセーフティーネットとして、全県的視野で互いに持つ資料とネットワークを生かした事業を展開していきます。

(1) 市町村立図書館(室)等の支援・協力

■ 県内どこに住んでいても必要な本を手にとることができるよう要望のあった市町村立図書館(室)に、又は市町村立図書館(室)を通じて個人に貸し出すとともに、この取組について、市町村と連携して広く県民に周知し利用促進に努めます。

■ 市町村立図書館(室)のサービス向上のため、図書館の運営や読書振興に資する助言等に努めます。

■ 図書館利用者のニーズに対応できるよう市町村立図書館(室)等の職員・関係者を対象として、専門知識や図書館サービスの向上につながる研修を実施します。

■ 県立図書館を中心に、市町村立図書館(室)と情報の共有を図り、図書館間のネットワークを拡充し、連携・協力して全県的な図書館サービス体制の充実を図ります。

取組(下記の口囲みはアクションプラン 以下同)

○県立図書館の本お取り寄せサービス(マイラインサービス)を提供する図書配送システム「マイライン」や、新たに整備した「ネットでお取り寄せサービス」(ネットでマイライン)について情報発信を行い、市町村立図書館(室)に対するより一層の利用促進を図る。

○支援チームにより市町村立図書館(室)を訪問し、現状や課題を的確に把握するとともに、それらを共有・整理して組織全体で解決策等をまとめ、効果的できめ細かい助言や情報提供を行う。

○県立図書館や公共図書館連絡協議会の事業による専門的な研修や、市町村の要望に応じて職員を派遣する研修等を実施し、県内市町村立図書館(室)職員に配慮した支援を行う。

○日頃から市町村立図書館(室)と連携を図るとともに、公共図書館連絡協議会の会議・研修等においても、市町村立図書館(室)との情報共有・意見交換を行う。

※県立図書館の本お取り寄せサービス(マイラインサービス)…県立図書館の本を最寄りの市町村立図書館(室)で予約して借りることができるサービス。
※ネットでお取り寄せサービス(ネットでマイライン)…県立図書館の本をオンラインで予約し、最寄りの市町村立図書館(室)で受取・返却できるサービス。

(2) 学校図書館の支援

■ 県内の児童・生徒が読書を通じて知識を身につけたり生き方について考えを深めたりすることや、本が身近にある楽しさに気付けるよう、図書館未設置地域の学校等に対し、学校図書館の運営・充実に役立つ支援を行います。

■ 高等学校における「主体的・対話的で深い学び」の促進や図書配送システム利用校の拡充など、図書館を活用した新たな学習活動の展開を支援します。

取組

○図書館未設置地域の学校等に対しては「やまびこ文庫(事業)」や「ひなた電子図書館」等を活用し、読書活動や調べ学習のための資料や環境を提供するとともに、地域の図書館(室)と連携し読書環境の充実を支援する。

○学校教育の関係機関と連携しながら、学校図書館に対して運営や資料の管理・活用等の課題に応じた助言を行うとともに、県立学校等への「マイライン」の普及と利用促進を図る。

※やまびこ文庫…市町村等支援専用資料を定期配送することによる支援等を行う事業の総称。

※ひなた電子図書館…県立図書館が運用している電子書籍サービス及びデジタルアーカイブ提供サービスの総称。

(3) 大学図書館への利用促進

- 大学図書館と連携し、図書配送システムの利用を促進します。

取組

○大学図書館協議会を活用して、日頃からの関係構築と情報共有に努めるとともに、「マイライン」や「横断検索」等での連携を進め、図書館サービスの向上と利用促進を図る。

(4) 図書館活動・ネットワークを支える施設・システムの維持管理

- 経年的に蓄積し続ける蔵書資料の保存状態を維持するとともに、安定的に資料収集ができるよう、収蔵スペースの確保に努めます。
- 誰もが安心して安全に利用できるよう、施設設備の老朽化や危機管理への対策を講じ、既存施設の維持・改善に努めます。
- 高度化する要望に的確に対応する図書館ネットワークを支え、より大量かつ高速な処理を可能にする図書館情報システムの拡充を検討・実施します。
- 資料防災について日頃から学び備えるとともに、ネットワークを生かし、関係機関と情報の共有化を図ります。
- 図書館の本を要望に応じて市町村立図書館(室)、高等学校、大学等県全域に迅速・効率的に届ける「図書配送システム」の維持管理に努めます。

取組

○蔵書の除籍や配架変更を行い、収蔵スペースの確保に努める。
○新たな書庫増設について、本課を含む関係機関と検討を行う。
○施設設備については、老朽化しているため、改修の必要性や緊急性を適切に把握し、優先順位をつけて計画的に対策を講じる。
○地震や火災など様々な危機事象に対して、関係機関と連携・調整を図りながら、実践的かつ効果的な防災・避難訓練や救命研修等を実施する。

○資料防災に関する情報収集や研修を行って課題を共有するとともに、対策として導入できていないものについて検討を行い、設備の改善や資料の保護への措置を進める。

○有事の際には、県立図書館がネットワークを生きしながら情報を収集・共有化する。また、支援が必要になった場合の市町村立図書館(室)への協力体制づくりを進める。

(5) 図書館の図書館としての情報発信

■一般に見えづらい県立図書館の活動や蔵書の魅力を積極的に情報発信します。

取組

○館報やホームページ、SNS等を通じ、それぞれの特性を生きながら、市町村立図書館(室)等と連携したサービスやバックヤードの支援、豊富な専門資料とそれらを生かした展示やレファレンスなど、県立図書館ならではの情報発信を行う。

2 みやざきの資料(地域資料)の拠点

歴史資料だけではなく、行政資料やパンフレット等を「地域資料」として、収集・整理・保存するとともに、貴重書等のデジタル化を進め、広く県民に活用を図り、個性と魅力ある地域づくりを支援します。

(1) 地域資料の収集・保存・発信の全県的な促進

■ 県内の基幹的図書館として市町村との役割分担を踏まえながら、歴史資料はもとより、行政資料や民間資料等を含む幅広い分野の地域資料の収集・保存に努め、県全体で資料の充実・共有を図ります。

■ 収集した地域資料を長期的視点で活用できるよう整理、保存します。

■ 地域資料・情報を活用し展示や講座等による情報発信を行うことで、県民のシビックプライドを醸成します。

※シビックプライド…郷土や自分の住む地域の課題等への当事者意識を伴った愛着と誇り。

■ 自館の特色あるコレクション(例:杉田文庫、小林邦雄コレクション)について、調査・研究し、多面的・多層的な展示を行うことにより、県民に、宮崎の土地、歴史、文化や人の魅力を知る機会を創出します。

※杉田文庫…宮崎市の杉田正臣氏から寄贈された、江戸初期から昭和期に至る俳諧・歴史書・医学書などからなる資料。

※小林邦雄コレクション…故小林邦雄氏の遺族から寄贈された、牧水の遺墨や関係資料。

取組(下記の口囲みはアクションプラン 以下同)

○年度ごとに効率的な収集・保存に取り組むとともに、電子資料の収集にも取り組む。

○貴重な地域資料を未来へ繋ぐため、行政資料を含む地域資料の収集を行っていることを広く県民や関係機関に周知し、市町村役場や公的施設を直接訪問して地域資料の寄贈の呼びかけを行う。

○県内の市町村立図書館(室)に対し、地域資料の収集・保存の重要性を周知し、県と市町村の役割分担について共通理解を図る。また、県内の専門機関に対しても同様の取組を行う。

○市町村立図書館(室)に対し地域資料収集・保存等に関する研修・助言を行う。

- 杉田文庫の調査研究を行い、その成果を県民に公開する。
- これまで収集した地域資料について、その書誌データの整理・充実を進め、地域情報へのアクセシビリティを改善し、本県に関する研究の促進を図る。
- 収集した資料等の研究成果を活用した展示会や、歴史や文化、自然などの様々な分野の専門家による講座等を通して、幅広い地域情報の発信を行う。
- 今後の感染症対策の参考とするため、新型コロナウイルス感染症への対策として取られた措置について収集した関連資料の活用に関する検討を行う。
- 郷土を代表する歌人である若山牧水の業績について、牧水研究者と連携しながら調査研究を進め、牧水の人となりや自然に対する考え方などについての情報発信を引き続き行う。

(2) 地域情報のデジタル化・データベース化

- 蓄積されていく豊富な地域情報については、データベース化による一元管理や貴重書等のデジタル化（デジタルアーカイブ）を進めることで、利活用しやすい提供環境を整備します。
- ボーンデジタル資料の収集、整理、保存方法について研究します。
※ボーンデジタル…作成当初からデジタル形式で記録され、冊子体では刊行されない情報。

取組

- 県内に残る古文書や古地図などの資料を災害等から地域を守るための防災対策等に活用するため、江戸時代以降からの関係地図について現地での調査を行い、専門家と協力しながら研究を進める。
- 歴史資料など、劣化が懸念される地域資料のデジタル化に努めデジタルアーカイブの充実を図る。
- ボーンデジタル資料の収集・保存・活用に関する情報収集や体制を構築するための調査研究を進める。

3 調べたい、学びたいに資料・情報・知識で応える

地域や個人の課題解決や生涯学習を支援するため、レファレンス(調査相談)サービスと情報資源(専門的分野の資料、データベース等)の充実を図ります。

県民に自主的・自発的な学習機会を提供するため、「知の共有・創造」の場づくりや、県の政策・企画立案の支援等を行います。

県民ニーズの高度化・多様化に対応できるよう、計画的な専門人材の育成・確保に取り組むとともに、県立図書館の事業について、評価等に基づいて継続的に改善していきます。

(1) レファレンスサービスの充実

■ 利用者の要望に多角的に対応し、豊富な情報や資料の提供を的確に行い、調査・研究を支援します。

■ 県立図書館が保有する豊富な情報や知識を活用して市町村立図書館のレファレンスサービスを支援し、県民の満足度を高められるよう努めます。

取組(下記の口囲みはアクションプラン 以下同)

○レファレンスサービスの周知と国立国会図書館レファレンス協同データベースの登録・更新を積極的に行い、サービスの利用とアクセスの増加を図る。

※レファレンス協同データベース…国立国会図書館が全国の図書館等と協同で構築する調べ物のための検索サービス。

○「ひなた電子図書館」の資料を新たに取り入れるなどパスファインダーやリストの内容の見直しと充実、ホームページでの公開を図り、その利用や利便性等について広く情報提供する。

※パスファインダー…調べたいテーマごとに、基礎的な資料や情報源を紹介した手引き。

○レファレンス業務について、職員の資質向上に率先して努めるとともに、市町村立図書館(室)等を対象とした研修や情報提供の機会を充実させ、県全体のサービスの向上につなげる。

(2) 専門的な資料・情報の収集・整理・保存・提供

- 市町村立図書館(室)との役割分担を踏まえ、より専門的な資料の収集・整理・保存・提供に努めます。
- 電子書籍について、調査研究を行います。

取組

- 資料収集方針を基本としながら、重点的に収集すべき資料について所蔵確認を行い、県立図書館として充実した蔵書構成となるような資料収集を計画的に進める。
- 市町村立図書館(室)では収集しにくい資料(専門書や高額な資料等)を収集する役割があることを周知し、理解を促進しながら役割分担に沿った資料収集に取り組む。
- 電子書籍サービスについて、関係機関と連携して県民や県内学校のより一層の利用促進を図る。

(3) 生涯読書活動の推進

- 図書館の利用が少ない世代などの読書振興を図るため、読書の大切さの普及・啓発を図ります。
- 読書に障がいのある方や、来館が困難な方、高齢者、外国人等に対する読書環境の充実を図ります。

取組

- 主に育児書・幼児用絵本でセット組した「子育て支援図書セット」について、セットの構成内容の更新を行い、町村の図書館(室)に貸出し、県立図書館に来られない子育て世代の支援を行う。
- 乳幼児の親を対象とした読み聞かせ講座をモデル的に行い、家庭での読書活動を推進するとともに、市町村立図書館(室)にも普及を図る。
- 利用の少ない中高生・就労世代に役立つ資料等の展示やWebを活用した情報発信、情報提供を行う。
- 読書に障がいのある方への読書機会の提供のために、障がい者サービス等について情報発信を行う。
- 障がい児通所施設や特別支援学校への貸出を視野に入れ、アクセシブルな資料の充実を図る。
- 市町村立図書館(室)職員を対象とした障がい者サービスについての研修や情報提供を行い、誰もが利用しやすい図書館(室)づくりに向けた県全体のサービス向上につなげる。

(4) 他の専門機関との連携

■ 大学や博物館など専門機関と協働し、展示や資料・情報を活用した主体的な学びの場づくりなど、モデル的取組の普及に努めます。

取組

○ 美術館・博物館等の展示やイベント内容に合わせ、各館の催事との相乗効果がより高まる企画展示等を実施して、県民の学びに寄与する。

○ 地域や他の関係機関と連携した県民参加型の事業(例:ウィキペディアタウン)について最新の動向等を把握し、モデル的取組として県内への普及を図る。

※ウィキペディアタウン…地域の文化財等を調査し、インターネット百科事典「ウィキペディア」の記事を作成・編集するイベント。

(5) 情報アクセス環境の整備

■ 書誌情報やデータベースの充実など、利用者が効率的・多面的に情報にアクセスできる環境整備に努めます。

取組

○ 書誌情報・所蔵情報を整理することにより、利用者が求める資料をより見つけやすくするよう努める。

○ デジタルアーカイブや商用データベース等の動向について情報収集し、サービスの周知や充実に生かすことで県民の調査研究等のニーズに応える。

(6) 政策立案の支援

■ 県政の重点事項に関する情報など、政策情報の収集に努め、自治体職員等に対し、政策立案や業務遂行を支援する資料や情報の提供、レファレンスサービスを行います。

取組

○ 県行政機関に対し政策立案に関連する参考情報等の周知を行うとともに、事例や文献の調査などを通じて政策立案を支援する。

(7) 地域の実情に応じた課題解決型サービス

■ 本県の県政課題や社会問題などに応じた資料・情報の収集、整理に努め、地域と個人の課題解決を支援します。

■ 市町村立図書館(室)に対して、産業振興や高齢者対策など、それぞれの地域の抱える課題に応じた図書館サービスを推進します。

取組

○ ビジネス、就労、法律、医療・健康等の分野の資料を計画的に整備・更新して課題解決型サービスを充実させるとともに、各種相談機関とも連携して利用者の課題解決を支援する。

○ 市町村立図書館(室)を訪問し地域の実情を把握するとともに、課題解決型サービスに必要な情報を提供することで、図書館(室)として地域課題解決に取り組む意識の醸成を図る。

○ 県政の重点事項に関する情報や資料について、県行政機関等と連携して充実を図るとともに、地域の情報拠点としてニーズや分かりやすさなどを踏まえて発信し、県民の地域課題解決に役立てる。

(8) 専門的なサービスを支える人材の育成・確保

■ 専門的な研修への職員派遣や実務経験の積上げ等により、高度なニーズに対応できる力を備えた人材の中長期的な育成・確保に努めます。

取組

○ 抱えている課題や目的に応じた専門研修の積極的な受講を促進するほか、受講しやすい環境を整え、職員の専門性の維持と向上を図る。

○ 専門研修で得た成果について組織で共有し、業務の見直し・改善や新たな取組に取り入れるとともに、市町村立図書館(室)への支援・助言に生かしていく。

(9) 新たな動向の把握及び事業の改善

■ 図書館のあり方について、その根幹的役割を踏まえつつ、社会情勢の変化に対応した事業の改善と充実に努めます。

取組

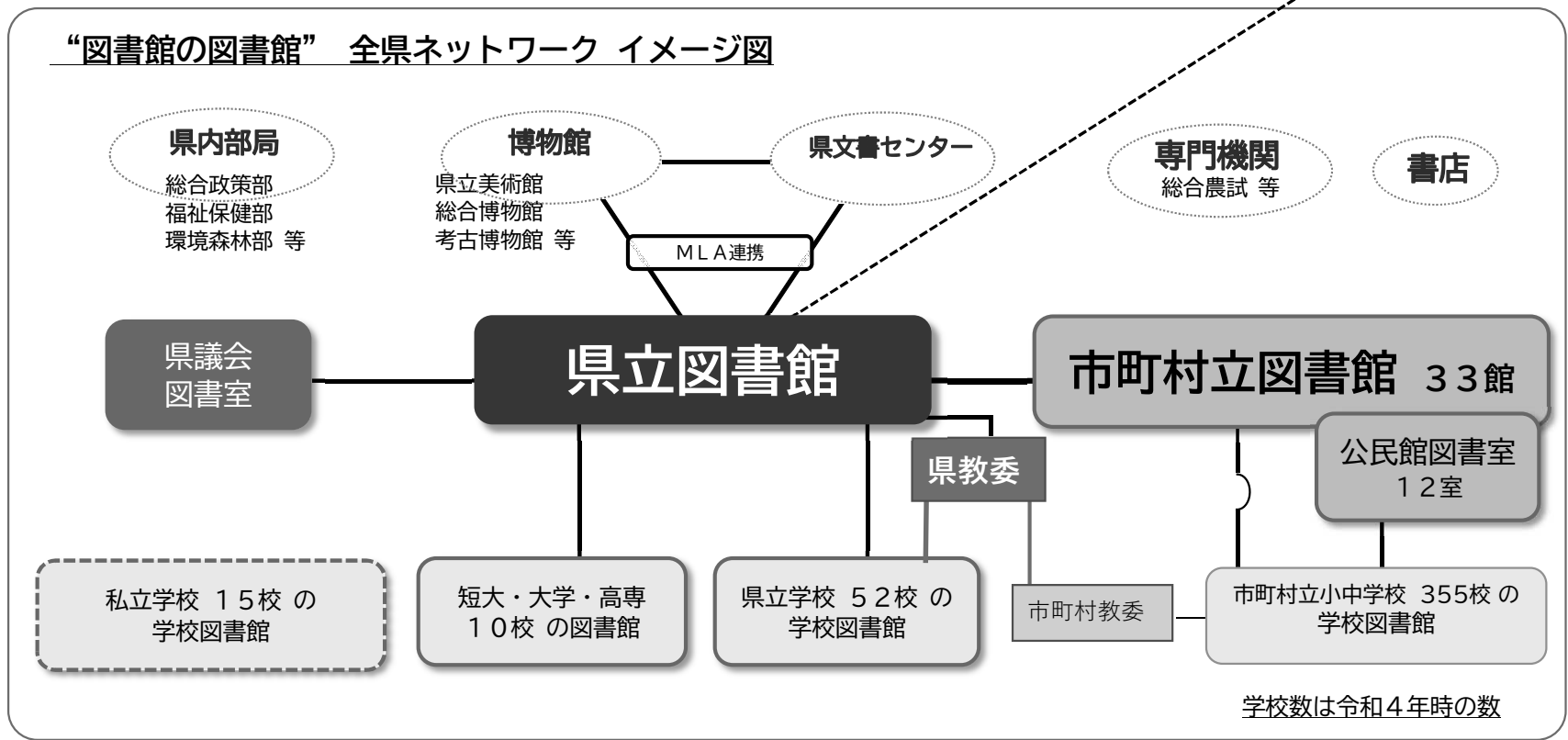
○ 図書館を取り巻く動向を的確に捉えて情報収集や関係機関への調査に努め、図書館運営やサービス等における課題の解決や改善に生かしていく。

○ 図書館の事業のあり方について、自己点検や外部評価に基づき、改善・充実に取り組む。

基本目標 人の暮らしを豊かにし、地域の課題解決に役立つ図書館

- 行動指針
- 1 図書館の図書館(全県ネットワーク)
 - 2 みやぎの資料(地域資料)の拠点
 - 3 調べたい、学びたいに資料・情報・知識で応える

国立国会図書館
全国の図書館



宮崎県立図書館 第4期アクションプラン 評価項目

アクションプラン項目番号	評価項目	基準値	目標値	
		令和6年度	令和8年度	令和9年度
①	1-(1) 県立図書館を会場とする研修会の満足度(%)	86.5	90.0	90.0
②	1-(1) 市町村マイライン利用率(%)	100.0	100.0	100.0
③	1-(2) 県立学校マイライン接続校数	26	34	37
④	1-(5) ホームページのアクセス件数	336,919	500,000	560,000
⑤	1-(5) SNSフォロワー数	1,389	2,250	2,700
⑥	2-(1) 単年度の地域資料受入れ点数	2,431	3,000	3,050
⑦	2-(2) デジタル撮影貴重資料の登録件数(累計)	1,544	1,640	1,700
⑧	2-(2) 図書館HPデジタルアーカイブのアクセス件数	3,885	4,400	4,800
⑨	3-(1) レファレンス協同データベース登録件数(累計)	1,495	1,540	1,570
⑩	3-(1) レファレンス協同データベース登録自館登録データアクセス件数	73,200	73,300	73,400
⑪	3-(3) 障がい者サービスの貸出点数	691	695	695
⑫	3-(3) 県立図書館及び市町村立図書館(室)の人口1人あたりの貸出点数	3.4	3.8	3.8
⑬	3-(6) 庁内サービス利用件数	173	175	175
⑭	3-(8) 県外研修派遣数(県外又は全国規模の専門研修受講数)オンライン受講含む	12	15	15

※基準値は令和6年度の各実績値。ただし、⑩は比較困難な極大値となったため、令和7年度の月間実績を用いて推計した。

<参考 1> 県立図書館及び県内市町村立図書館（室）各種統計にみる近年の動き

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1 マイライン貸出冊数	6,112	5,084	5,196	5,059	5,175
2 市町村間の相互貸借における貸出冊数	4,640	4,656	5,131	5,242	4,225
3 アドバイザー派遣館(室)数	12	18	16	12	12
4 県内市町村立図書館設置率(4月1日時)	73.1	77.0	80.1	80.1	80.1
5 県立図書館への入館者数	307,705	289,561	187,141	352,033	373,604
6 県立図書館及び市町村立図書館(室)の貸出冊数	3,193,234	3,607,908	3,596,206	3,562,842	3,468,313
7 県立図書館の貸出冊数	370,930	415,007	391,981	382,732	359,801
8 市町村立図書館(室)の貸出冊数	2,822,304	3,192,901	3,204,225	3,180,110	3,108,512
9 県立図書館障がい者サービスの貸出点数	1,043	1,067	1,170	523	691
10 県立図書館SNSフォロワー数	530	601	753	998	1,389
11 県立図書館デジタルアーカイブへのアップ点(冊)数	1,060	1,110	1,158	1,237	1,296

コロナ禍に伴う休館や利用制限、外出自粛等の影響から、入館者数や貸出数がそれ以前と比べて低い水準となった。令和5年度に5類感染症へ移行後、入館者数の復調は見られるが、貸出利用はあまり上向いていない。(項目1, 2, 5~8)

当館職員が県内市町村立図書館(室)を訪問し、要望に合った助言、研修を行うアドバイザー派遣は令和3年度をピークに鈍化している。(項目3)

令和2年7月に椎葉村図書館「ぶん文Bun」、令和3年5月には日之影町立図書館が開館し、県内26市町村のうち未設置は高原町、西米良村、木城町、諸塚村、五ヶ瀬町の5町村となった。(項目4)

個人宅への無料配送サービスを含む障がい者サービスの貸出点数はコロナ禍の中で着実な伸びを示したが、令和5年度はそれまでの半分程度に減少した。(項目9)

令和4年度10月より、Facebookに加えて新たにInstagramを運用開始したことにより、SNSのチャンネルが増え、フォロワー数は大きく増加している。(項目10)

電子化した資料をデジタルアーカイブに計画的に登録しつつ(項目11)、SNS等を通じ登録内容の周知を図っている。

<参考2> 都道府県立図書館統計より 宮崎県立図書館の位置

【出典】

①『全国市町村要覧[令和6年版]』(政府刊行物)より
 ・2024年1月1日現在住民基本台帳による。

②～⑨『図書館雑誌』2025年8月号(日本図書館協会刊)より

・データは2025年4月1日現在で行われた公共図書館調査票より転記した速報値である。
 『日本の図書館』本誌発行までには図書館からの修正・訂正があった場合、データを変更することがある。

・「図書館への貸出数」は2024年度中に市区町村立図書館等からの申込を受けて貸出した資料数。
 ・「資料費予算額」は、臨時資料費を含む。
 ・「図書館収容能力」が複数ある都府県については、中央館のデータを用いた。

⑩『日本の図書館 2024』(日本図書館協会刊)より

①人口

順位	県名	人口
1	東京都	13,911,902
2	神奈川県	9,208,688
3	大阪府	8,775,708
4	愛知県	7,500,882
5	埼玉県	7,378,829
6	千葉県	6,310,158
7	兵庫県	5,426,363
8	福岡県	5,293,983
9	北海道	5,093,983
10	静岡県	3,606,649
11	茨城県	2,865,690
12	広島県	2,750,540
13	京都府	2,488,075
14	宮城県	2,242,389
15	新潟県	2,137,672
16	長野県	2,028,135
17	岐阜県	1,967,862
18	群馬県	1,919,232
19	栃木県	1,916,787
20	岡山県	1,851,155
21	福島県	1,795,219
22	三重県	1,752,567
23	熊本県	1,728,098
24	鹿児島県	1,576,361
25	沖縄県	1,485,669
26	滋賀県	1,410,534
27	奈良県	1,315,207
28	愛媛県	1,312,298
29	山口県	1,310,109
30	長崎県	1,289,994
31	青森県	1,205,573
32	岩手県	1,172,349
33	大分県	1,112,827
34	石川県	1,109,226
35	宮崎県	1,058,710
36	山形県	1,027,009
37	富山県	1,019,004
38	香川県	948,585
39	秋田県	924,620
40	和歌山県	913,297
41	山梨県	806,369
42	佐賀県	801,051
43	福井県	752,390
44	徳島県	710,012
45	高知県	675,623
46	島根県	650,624
47	鳥取県	540,207
合計		124,885,175

②資料費予算額

順位	県名	資料費 2025年度予 算額(千円)
1	東京都	373,715
2	福井県	132,892
3	鳥取県	107,513
4	高知県	107,141
5	大阪府	106,214
6	石川県	84,590
7	岐阜県	82,529
8	岡山県	79,442
9	静岡県	77,057
10	千葉県	70,351
11	神奈川県	70,014
12	福岡県	69,826
13	愛媛県	66,940
14	長崎県	66,344
15	茨城県	63,229
16	青森県	59,133
17	埼玉県	58,725
18	滋賀県	58,239
19	宮城県	51,883
20	大分県	51,623
21	山口県	48,772
22	広島県	48,693
23	山梨県	48,365
24	和歌山県	45,710
25	佐賀県	45,387
26	群馬県	45,012
27	鹿児島県	44,967
28	長野県	44,258
29	三重県	42,401
30	富山県	41,562
31	福島県	41,404
32	宮崎県	40,244
33	秋田県	38,533
34	奈良県	36,284
35	愛知県	35,094
36	香川県	34,576
37	鳥取県	33,390
38	熊本県	32,959
39	京都府	32,386
40	福島県	31,865
41	北海道	31,728
42	沖縄県	30,095
43	山形県	26,138
44	新潟県	25,000
45	岩手県	23,573
46	兵庫県	22,000
47	栃木県	21,383
合計		2,829,735

③来館者数

順位	県名	来館者数
1	石川県	1,192,832
2	岡山県	794,793
3	大阪府	765,609
4	山梨県	683,423
5	福井県	566,243
6	東京都	441,858
7	長崎県	433,280
8	奈良県	422,049
9	愛知県	414,039
10	香川県	401,170
11	沖縄県	397,808
12	茨城県	395,140
13	鹿児島県	386,024
14	宮崎県	373,404
15	岩手県	360,623
16	神奈川県	349,346
17	京都府	346,530
18	秋田県	340,860
19	宮城県	337,720
20	大分県	315,280
21	岐阜県	306,565
22	長野県	305,941
23	福島県	289,868
24	新潟県	288,404
25	和歌山県	282,824
26	山形県	270,210
27	千葉県	261,848
28	佐賀県	257,245
29	埼玉県	245,685
30	熊本県	240,666
31	鳥取県	227,744
32	福岡県	224,007
33	静岡県	209,019
34	青森県	201,744
35	島根県	198,190
36	滋賀県	188,179
37	広島県	182,437
38	群馬県	169,031
39	福島県	157,367
40	静岡県	155,892
41	愛媛県	118,056
42	兵庫県	116,444
43	富山県	109,943
44	山口県	101,221
45	栃木県	47,324
46	北海道	44,003
47	高知県	未記入
合計		14,917,213

④個人貸出数

順位	県名	個人 貸出資料数
1	岡山県	1,145,432
2	長崎県	762,141
3	香川県	721,534
4	石川県	620,094
5	滋賀県	615,611
6	鹿児島県	601,850
7	大阪府	589,329
8	宮城県	575,039
9	大分県	495,303
10	福岡県	487,877
11	徳島県	447,856
12	茨城県	447,315
13	和歌山県	380,501
14	新潟県	364,686
15	鳥取県	364,686
16	秋田県	348,416
17	沖縄県	347,288
18	山梨県	344,067
19	愛知県	319,509
20	宮崎県	306,916
21	鹿児島県	290,753
22	山形県	287,948
23	岐阜県	279,866
24	鳥取県	236,520
25	群馬県	232,387
26	青森県	219,899
27	埼玉県	214,210
28	奈良県	208,847
29	広島県	203,242
30	三重県	196,567
31	佐賀県	188,600
32	熊本県	180,323
33	福島県	173,169
34	岩手県	161,179
35	京都府	152,456
36	山口県	147,993
37	富山県	133,070
38	神奈川県	118,129
39	静岡県	109,546
40	千葉県	99,049
41	北海道	90,997
42	長野県	88,797
43	愛媛県	81,343
44	栃木県	48,603
45	兵庫県	33,994
46	東京都	未記入
47	愛媛県	未記入
48	高知県	未記入
合計		14,466,337

⑤図書館への貸出数

順位	県名	図書館へ の貸出数
1	神奈川県	116,473
2	千葉県	88,318
3	東京都	60,171
4	大阪府	56,842
5	北海道	56,147
6	鳥取県	52,339
7	長崎県	46,153
8	京都府	41,564
9	鹿児島県	35,193
10	佐賀県	33,620
11	埼玉県	33,128
12	滋賀県	30,665
13	岡山県	27,244
14	徳島県	19,646
15	秋田県	18,251
16	大分県	17,687
17	富山県	15,520
18	和歌山県	14,192
19	愛知県	14,006
20	三重県	13,275
21	福岡県	12,627
22	宮城県	12,363
23	石川県	10,822
24	岐阜県	10,341
25	福井県	9,771
26	鳥取県	9,743
27	群馬県	9,647
28	兵庫県	8,752
29	茨城県	8,250
30	栃木県	8,026
31	新潟県	7,670
32	奈良県	7,401
33	広島県	6,797
34	香川県	6,620
35	静岡県	6,142
36	山梨県	5,828
37	宮崎県	5,333
38	山口県	4,768
39	山形県	4,209
40	福島県	3,977
41	青森県	3,873
42	沖縄県	3,389
43	長野県	2,899
44	岩手県	1,792
45	熊本県	1,122
46	愛媛県	1,015
47	高知県	未記入
合計		847,779

⑥参考業務受付数(レファレンス)

順位	県名	参考業務 受付件数
1	大阪府	80,501
2	岡山県	70,102
3	東京都	61,846
4	福岡県	57,038
5	山梨県	39,860
6	沖縄県	38,777
7	埼玉県	33,417
8	愛知県	28,338
9	鹿児島県	24,172
10	京都府	23,683
11	香川県	20,444
12	千葉県	18,959
13	宮城県	18,355
14	群馬県	18,208
15	新潟県	18,010
16	岩手県	17,923
17	熊本県	15,926
18	秋田県	15,412
19	鳥取県	15,358
20	大分県	14,433
21	長崎県	14,158
22	富山県	13,936
23	福井県	13,908
24	奈良県	12,978
25	青森県	12,926
26	茨城県	12,769
27	和歌山県	10,191
28	愛媛県	9,828
29	岐阜県	9,423
30	兵庫県	9,310
31	福島県	8,832
32	神奈川県	8,129
33	徳島県	8,081
34	山口県	8,071
35	北海道	7,983
36	三重県	7,754
37	佐賀県	7,468
38	熊本県	7,333
39	宮崎県	6,761
40	鳥取県	6,307
41	長野県	6,012
42	滋賀県	5,387
43	静岡県	4,697
44	広島県	3,899
45	石川県	1,406
46	山形県	未記入
47	高知県	未記入
合計		847,779

⑦専任司書割合

順位	県名	専任司書 割合(%)
1	徳島県	90
2	滋賀県	89
3	愛知県	88
4	埼玉県	81
5	島根県	81
6	富山県	80
7	京都府	78
8	香川県	77
9	大阪府	77
10	愛媛県	76
11	高知県	76
12	神奈川県	75
13	北海道	75
14	福島県	75
15	山梨県	74
16	新潟県	74
17	和歌山県	74
18	奈良県	74
19	岐阜県	74
20	岡山県	73
21	山口県	72
22	広島県	72
23	東京都	71
24	大分県	68
25	鳥取県	65
26	石川県	64
27	三重県	63
28	福井県	63
29	長野県	59
30	千葉県	56
31	福岡県	52
32	静岡県	51
33	青森県	50
34	秋田県	50
35	熊本県	48
36	兵庫県	48
37	鹿児島県	41
38	茨城県	38
39	茨城県	38
40	宮崎県	36
41	沖縄県	36
42	岩手県	33
43	長崎県	29
44	群馬県	29
45	栃木県	25
46	佐賀県	9
47	山形県	0
平均		60.10

⑧図書館収容能力

順位	県名	図書館収容 能力(万冊)
1	大阪府	453.0
2	石川県	230.0
3	岡山県	230.0
4	東京都	208.0
5	高知県	205.0
6	岐阜県	202.0
7	福井県	190.0
8	愛知県	180.0
9	大分県	160.0
10	岩手県	153.5
11	宮城県	150.0
12	秋田県	150.0
13	滋賀県	150.0
14	京都府	150.0
15	岐阜県	141.0
16	沖縄県	140.0
17	富山県	132.0
18	奈良県	125.0
19	香川県	122.0
20	鳥取県	120.0
21	福島県	120.0
22	徳島県	115.0
23	山梨県	110.0
24	北海道	108.0
25	千葉県	108.0
26	佐賀県	101.3